

## 広瀬川創生プラン策定推進協議会設置要綱

(平成16年6月18日市長決裁)

### (設置)

第1条 杜の都仙台のシンボルである広瀬川を市民と行政との協働による取り組みにより将来にわたって保全し、広瀬川の新たな魅力を創出するための市民行政共通の行動計画として「広瀬川創生プラン」(以下「プラン」という。)を策定し総合的に推進するため、「広瀬川創生プラン策定推進協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

### (所掌事務)

第2条 協議会は、次に掲げる事項について検討し、協議を行う。

- 一 市民と行政との協働によるプランの策定に関すること
- 二 市民と行政との協働によるプランの推進に関すること

### (組織)

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、関係機関の職員、学識経験者、企業及び市民団体のうちから市長が委嘱する。

### (任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

### (会長)

第5条 協議会に会長を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 会長に事故あるときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第6条 会長は、協議会の会議を招集し、その議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席をしなければ開くことができない。

3 会長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴き、又は説明を求めることができる。

### (庶務)

第7条 協議会の庶務は、建設局百年の杜推進部百年の杜推進課において処理する。

### (委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

### 附 則

この要綱は、平成16年6月18日から実施する。

この要綱は、平成19年3月1日から実施する。

この要綱は、平成19年4月1日から実施する。

この要綱は、令和4年4月1日から実施する。

仙台市

からのご案内

アイラブ 広瀬川

広瀬川創生プラン

広瀬川に関する活動に取り組む団体を応援します

## 広瀬川魅力創生サポーター認定制度

企業などの  
イメージアップや  
活動のアピールに

広瀬川創生プラン取組事業に関する活動（運営など）を行っている団体を  
“**広瀬川魅力創生サポーター**”として仙台市が認定し、その取り組みを応援します  
市民、NPO、事業者、行政の協働で広瀬川の魅力創生に取り組みましょう！

### サポーターの種類と支援の内容

活動に応じて  
グリーンからゴールドへ  
ステップアップ



広瀬川

グリーンサポーター

仙台市ホームページで  
活動を紹介

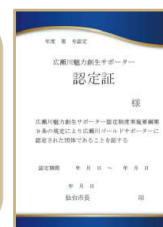


広瀬川

ゴールドサポーター

仙台市HPで  
活動を紹介

認定証を  
交付



認定要件・申請の流れは裏面へ

### 申請・お問合せ先

仙台市建設局百年の杜推進課  
広瀬川創生係  
TEL : 022-214-8327

認定申請書のダウンロード  
その他詳細はこちらへ

仙台市ホームページ



<https://www.city.sendai.jp/hirosegawasose/ninteiseido.html>

# 認定要件（活動実績）と申請の流れ

どんな活動をすると  
認定されるの？



## 広瀬川グリーンサポーター

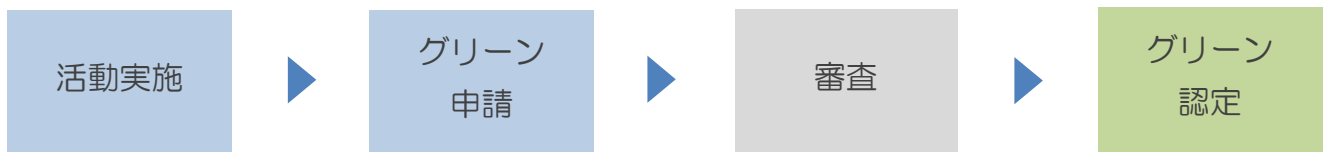
広瀬川創生プランの取組事業(※1)に延べ 10 人以上従事

※1 申請の前年度～当該年度に開催されたもの

### 取組事業と活動の例

- 「広瀬川 1 万人プロジェクト」などの清掃活動に参加
- 「広瀬川で遊ぼう」などのイベントの運営に従事

取組事業一覧は  
仙台市 HP へ



## 広瀬川ゴールドサポーター

グリーンサポーターの認定期間中に次のいずれかの活動に従事

- ✓ 「広瀬川 1 万人プロジェクト」清掃活動の会場事務局（又は補助）を 3 年以上担当
- ✓ 広瀬川創生プランの重点事業の主催団体（又は補助）として 2 回以上(※2)活動

※2 うち 1 回は重点事業以外の事業（多くの市民が参加できて  
広瀬川の保全や賑わいづくりに貢献する取組）でも可

### これまでの重点事業の例

- 広瀬川で遊ぼう
- 作並かつぱ祭り
- 広瀬川 1 万人プロジェクト

現年度の重点事業は  
仙台市 HP へ



※3 広瀬川創生プラン策定推進協議会の意見聴取

認定の有効期間 2 年間

対象団体 NPO、企業など

## 広瀬川創生プラン 取組事業



自然を守る清掃活動や川に親しむイベントなど、広瀬川ではたくさんの活動が行われています。「広瀬川創生プラン」には広瀬川に関する様々な取組事業を掲載していますので、興味のある活動にぜひ参加してみてください。



広瀬川ミズベリング実行委員会  
 プレゼン大会&水辺で乾杯



# 開催レポート

## プレゼン大会

### 趣旨・目的

- 1) 広瀬川と青葉山エリアが交わる場所を舞台にした事業創発のアイデアを発掘
- 2) 潜在的な活動人材を発掘

### 日時

募集：2023年5月18日～6月18日  
 開催：2023年7月7日(金) 17時～18時45分

### 会場

青葉山公園・仙臺緑彩館 交流体験ホール

### 参加者

応募：51組  
 観覧：約100名



Fig. 募集チラシ(表面)

# プロセス

## アイデア募集

- 方式: ウェブフォームに直接入力
- 告知: 公共施設、小・中・高・大の教諭、広瀬川×青葉山エリア徒歩圏へのポスティング

## 一次審査

- 実行委員会による審査
  - ・評価項目ごとの点数付け後に審議
  - ・公開プレゼン進出の6組を選定

## 公開プレゼン

- スライド: 最大3枚、発表時間: 最長5分
- 審査員からの質疑応答: 5分

## 最終審査

- 審査員と協賛企業による審査
  - ・点数付後に審議し6組の賞を決定
  - ・オーディエンス投票での賞を決定

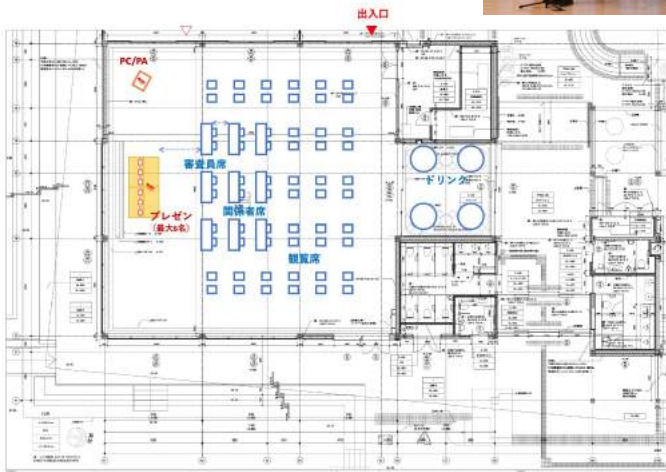
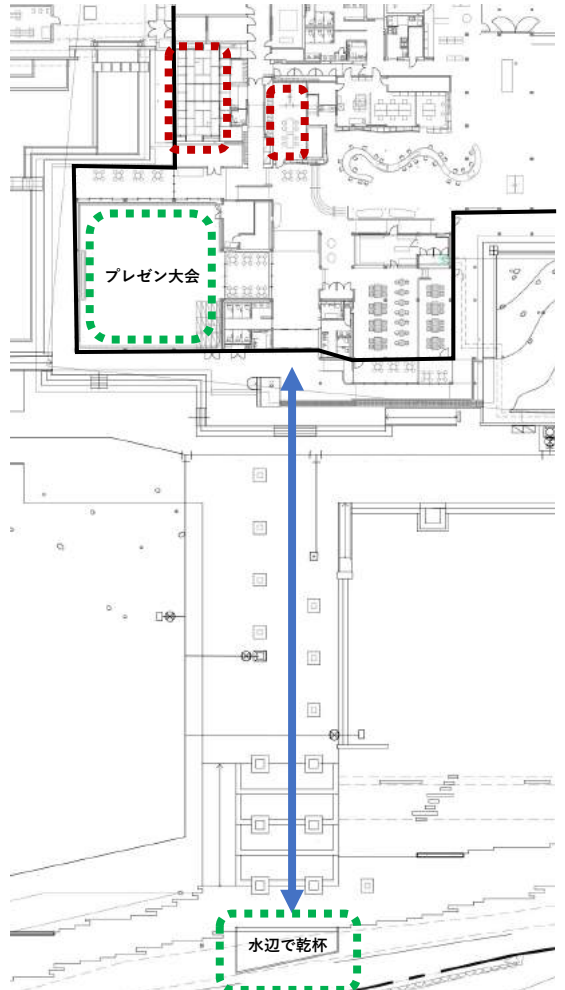


Fig. 募集チラシ(裏面)

### 【審査】

- 本多 智訓 氏**  
MARUMORI-SAUNA株式会社 代表取締役  
INTILAQ プログラムディレクター
- 岩本 唯史 氏**  
株式会社水辺総研 代表取締役  
ミズベリング・プロジェクト  
ディレクター
- 舛田 直樹 氏**  
国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 技術調整官
- 庄司 卓 氏**  
七十七銀行 荒町支店 支店長

# 会場レイアウト



No.	タイトル/作者	イメージ	結果・総額 7.7 万円
4	広瀬川曲水の宴 イベント構想 平田 圭亮	 <p>今回私が提案するのは、この曲水の宴を広瀬川で行おうというアイデアである。</p> <p>みんなでの歌を聴き合うための文化活動として企画である。実行費を補助金にもおまけやシニアなどにしては、老若男女問わず参加でき、楽しめるイベントになると考えられる。</p>	<p>望想賞・賞金 1 万円</p> 
21	ライフカフェ ～死生観を深めよう～ 佐藤 悠子	<p><b>ライフカフェ</b> -死生観を深めよう-</p> <p>伊達政宗はじめ、歴史上の人物はみな死んでいる。生前の偉業や思いは命を閉じることができず。今を生きている私たち一人ひとりの命だって、無常と続くもの。LIFE (命・人生・生業) は、川の流れのようにつながり、現世からその先へつながり続けている。</p> <p>美しい広瀬川の流れや自然を感じつつ、死生観を深める交流の場をつくり、社会全体でよりよい生き方を求めるムーブメントを起したい。</p> <p><b>【死のタブーを視るを、生き方を前向きに考える】</b> ワークショップの開催 ・カラスのようなグラフィカルな空間設計 ・参加者同士の死生観を共有 ・テーマの例「ごごごごごごご(想死できる身近で亡くなった人)は、いまだどうなっているのか」「自分が死んだらどうなるか」「大切な人が死と向き合っているとき、死んだらどうなるのか?との質問にどう答えるか」「どのような生き方をしたいのか」 ・ミニレクチャー、インフォメーション</p> <p><b>【広瀬川・青葉山エリアに癒される】</b> 心が癒えた時には、雄大な広瀬川や青葉山エリアの自然、すぐ近くにある都会の賑やかさが癒してくれる。</p> <p><b>【気軽に訪れることができる】</b> ・ワークショップの定期開催、展示場の設置 ・異なる年代や様々な文化社会背景を持つ人同士が交流できる場</p> <p><b>【いざという時にも活用がしやすい】</b> ・防災や急病などで、自分自身の死と親密に向き合うことになった時 ・大切な人の死と向き合う時 →アクセスがよく、バリアフリーの自然に恵まれた場所がよい ・寂しかった時、故人とのつながりを感じられる場所がある</p>	<p>審査員特別賞本多賞 賞金 1 万円</p> 
22	船づくりを通じた地域資源の連携 team O		<p>望想大賞 賞金 2 万円</p> 
29	Garden of River, Sendai ～感謝と尊ぶ気持ちで未来へつなげる～ 宮崎 典子		<p>審査員特別賞舂田賞 賞金 1 万円</p> 
32	Come back salmon☆広瀬川プロジェクト 富川 多佳子		<p>七十七銀行賞 賞金 1 万円</p> 
49	レインボーな城 片平丁小学校 3 年生グループ⑤		<p>審査員特別賞岩本賞 オーディエンス賞 賞金 1 万 7 千円</p> 

# 水辺で乾杯

## 内容

全国・世界との同時刻での乾杯アクション

## 日時

2023年7月7日(金) 午後7時7分

## 会場

青葉山公園・広瀬川沿いウッドデッキ

## 参加者

観覧：約130名

## 同時刻乾杯

観覧：243箇所

人数：24,000人

帰ってきた  
**ミスベリカンパ**  
水辺で乾杯2023  
7月7日(金) 7時7分



Fig. ミズベリングのフリー画像



広瀬川ミズベリング実行委員会

会計収支

収入の部

	単価	数量	決算	備考	予算	差額 (決算-予算)
協賛金		一式	20,000	七十七銀行荒町支店	20,000	0
負担金		一式	262,000	仙台市負担金・全体事業費の1/2以下	267,000	-5,000
その他の収入		一式	242,417	都市デザインワークス(UDW)拠出金	247,000	-4,583
	合計		524,417		534,000	-9,583

支出の部

	単価	数量	決算	備考	予算	差額 (決算-予算)
ポスティングチラシ印刷費		一式	92,360	A4・カラー/モノクロ、13,000部	92,360	0
AIサービス料		一式	1,300	メインビジュアル生成		1,300
WEBサイトドメイン料	900/月	3ヶ月	2,700	独自ドメイン・3ヶ月分	7,200	-4,500
WEBフォーム使用料		一式	38,500	画像投稿機能追加	38,500	0
映像撮影費		一式	66,000	公開プレゼン・水辺で乾杯 撮影・編集	66,000	0
写真撮影費		一式	33,000	公開プレゼン・水辺で乾杯 撮影	33,000	0
講師謝礼	20,000	2	40,000	2名(岩本、本多)	40,000	0
講師交通費	20,000	1	20,000	1名(岩本)	20,000	0
会場代		一式	79,200	交流体験ホール・和室	52,800	26,400
清掃代		一式	0		24,000	-24,000
賞金		一式	77,000	6組	79,000	-2,000
記念品		一式	23,255	賞状・祝袋(700), ステッカー(22,555)	20,000	3,255
乾杯ドリンク代		100	48,792	地産品4種(ビール, 日本酒, お茶等) × 25本	40,000	8,792
手数料	550	3	1,650	振込手数料(UDW入金・送金, メディアージ)		1,650
消耗品費		一式	660	養生ロープ(440), 両面テープ(220)	21,140	-20,480
	合計		524,417		534,000	-9,583

<会計監査報告>

帳簿・帳票及び預金通帳並びに現金残高について、決算が適正であることを認める。

令和5年9月11日

熊谷 純



# 望想アイデアコンテスト プレゼン大会 発表作品

【No. 4 広瀬川曲水の宴イベント構想 作者：平田 圭亮 様】



## ◆曲水の宴

- ・和歌のお題を発表する。
- ・酒を遣水に流す。
- ・詠み手に酒が流れて来るまでに和歌を詠む。
- ・流れて来た酒を飲む。

【No. 21 ライフカフェ～死生観を深めよう～ 作者：佐藤 悠子 様】



## ◆ワークショップの開催

- ・美しい広瀬川の流れや自然を感じつつ、死生観を深める交流の場をつくる。
- ・カフェのようなカジュアルな雰囲気、テーマに沿って対話する。
- ・社会全体でよりよい生き方を求めるムーブメントを起こす。

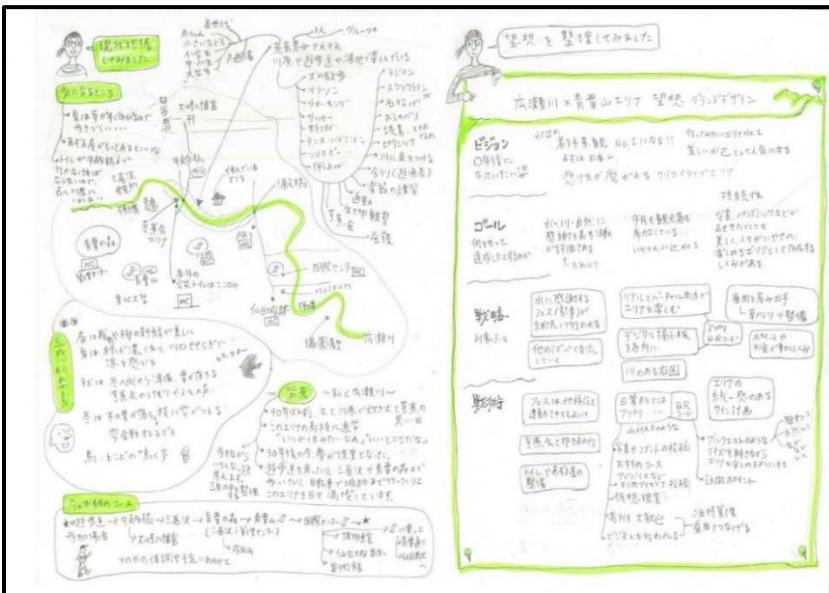
【No. 22 船づくりを通じた地域資源の連携 作者：team O 様】



## ◆船づくりイベント

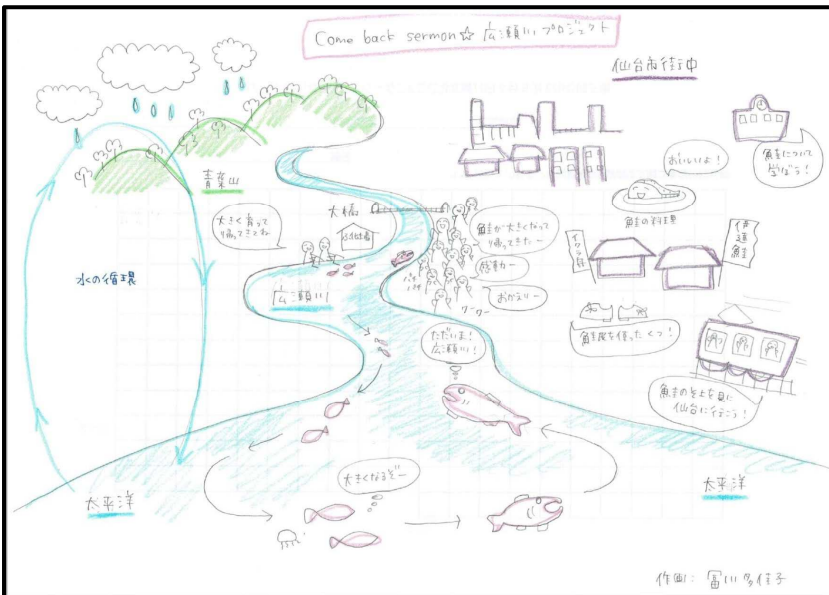
- ・青葉山の間伐材を使い、船づくりをワークショップとして行う。
- ・完成した船は、川下りレースのイベントとして、牛越橋周辺からスタートし、川内追廻でゴール。
- ・追廻エリアでは、使用した船を花壇として再利用し、追廻の風景を彩る。

【No. 29 Garden of River, Sendai～感謝と尊が気持ちで未来へつなげる～ 作者：宮崎 典子 様】



- ◆水（川・自然）に感謝するフェス
  - ・美しい水辺コンテストやシンポジウムを開催する。
  - ・自然への感謝と尊が気持ちを、フェスを通して表す。
  - ・リアルなエリアの体験と、仮想空間のエリアと両方で楽しむ。

【No. 32 Come back salmon☆広瀬川プロジェクト 作者：富川 多佳子 様】



- ◆ヒトとサケのつながりプロジェクト
  - ・鮭の繁殖を行い広瀬川へ放流する。
  - ・遡上する鮭の手づかみ体験や、鮭を使った料理教室を行う。
  - ・鮭を中心としたお祭りイベント「広瀬川伊達鮭ブランド祭り」を開催する。

【No. 49 レインボーな城 作者：片平丁小学校3年生グループ⑤ 様】



- ◆広瀬川に青葉城を再現
  - ・城はスタンドグラスで作られていて、城の中まで光が入る。
  - ・青葉山のとっぺんからウォータースライダーを通して城のある広瀬川に流れる。
  - ・城の中心までくると、ひみつの扉があって、そこに入ると城の中をたんけんできる。

# 広瀬川創生プラン 令和5年度取組事業一覧



参考資料 4

  : 令和5年度重点事業

  : 令和5年度になってから追加された事業

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
1	広瀬川創生プラン 策定推進協議会	広瀬川創生プランにおける重点事業の実施と進行管理	重点事業の設定段階から、各主体が協働し、役割分担に応じプランの重点事業を実行・進行管理する。
2		広瀬川ゴールドサポーター認定に対する意見の発信	広瀬川ゴールドサポーターの認定・不認定の決定にあたり、仙台市の審査結果に対して意見を発信する。
3	広瀬川市民会議	広瀬川で遊ぼう	広瀬川への関心を高めるために、5月のGW期間中に若林区宮沢緑地でイベントを実施する。
4		作並かつぱ祭り	広瀬川上流域で、子供たちが川に親しむためのイベントを開催する。
5		親水空間の利活用の検討推進	広瀬川における親水空間の利活用を推進するための検討を行う。
6		広瀬川市民会議の拡充	事務局体制の確立を図るとともに、活動を通じて他の団体との連携拡大を図りながら、多くの市民が参加できるように組織を拡充する。
7		広瀬川市民協働基金(市民ファンド)の設立・運営	基金のあり方を検討し、市民・企業等に協賛の呼び掛けを行い、基金設置後はその運営を担う。
8	広瀬川1万人プロジェクト実行委員会	広瀬川1万人プロジェクト	仙台市人口1%の1万人をキーワードとして、流域一斉清掃などの啓発活動を実施する。なお、秋の流域一斉清掃は「広瀬川の清流を守る条例」公布日にちなみ、9月の最終土曜日に実施している。
9	(公財)みやぎ・環境とくらし・ネットワーク	「身近な水環境の全国一斉調査」への参加(広瀬川の水質調査)	毎年6月に全国水環境マップ実行委員会が実施する「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、広瀬川の上流から下流までの数地点の水質調査を行う。
10		「水の神さま」プロジェクト	地域に祀られている龍神碑・水神碑・不動尊など水にまつわる神さまを題材に、地元住民へのヒアリングを通して、地域住民の水に対する思いや水辺の変化などを踏査・発信する。震災後は沿岸地域を中心に調査・発信を実施。
11	(公財)日本野鳥の会 宮城県支部	定例探鳥会の実施	大橋からの野鳥観察を含む青葉山定例探鳥会を、主に毎月第1日曜日に開催しており、その他にも千代大橋付近の野鳥を観察する広瀬川下流探鳥会を6月と3月に開催している。
12	広瀬川ミズベリング実行委員会	広瀬川ミズベリング	<p>【趣旨】 広瀬川を舞台にした事業創発の場を開き、潜在的な広瀬川活動人材を掘り起こすため、プレゼン発表の場をつくるとともに、水辺で乾杯を通じて、立場を超えた一体感をつくりだす。</p> <p>【第一部】プレゼン大会 市民から広瀬川での企画アイデアを広く募集(特に若年層)し、書類審査(応募数が多い場合)と公開審査を行う。</p> <p>【第二部】水辺で乾杯 これからの広瀬川の利活用(せんだいセントラルパーク等)についての望想を産・官・学・金・民で語り合いながら、広瀬川河川敷にて「水辺で乾杯」を行う。</p>
13	(特非)都市デザインワークス	せんだいセントラルパーク構想	杜の都仙台のシンボルである青葉山や広瀬川が地下鉄東西線と交差する広瀬川流域一帯において、資源発掘や“5つの楽しみ方 佇むピクニック・巡るまち歩き・集うマーケット・知るミュージアム・食のカフェレストラン”を提案し、市民の参加・共感の輪を広げる構想。
14		伊達な川床	全国都市緑化フェアにおいて、官民協働により、河川空間の自然を楽しめるような伊達(人目をひくオシャレ)な仮設の川床を設置し、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることのできる名所とする。
15		大橋リバーフロントプロジェクト	大橋を中心とした広瀬川河川空間及び、広瀬川に面する青葉山公園(仮称)公園センター、西公園、住宅や店舗、またその庭先等のまち空間を、一体的なせんだいセントラルパーク重点エリアと位置づけ、全国都市緑化フェアにおいて、都市生活や活動賑わいの小さな拠点(ハークハウス)を設置し、沈下橋や潜り堰または飛び石による歩行者ネットワークを創出する等して、広瀬川大橋周辺を市民も観光客も訪れることのできる名所とする。
16		広瀬川自転車ライド	環境に優しく心身の健康に繋がる「自転車」を活用し、広瀬川の河川敷をルートに含むグループライドを実施し、新しい生活様式に合ったレクリエーションのあり方を提示する。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
17	(特非)広瀬川の清流を守る会	広瀬川市民会議との協働	1980年任意団体として発足。1974年仙台市が「広瀬川の清流を守る条例」に定めた市長、事業者、市民の責務を明確にした市民協働の川づくりに共感し「広瀬川の清流を守る会」と命名しました。2001年4月(特活)法人化。「広瀬川の治水・利水・環境」のバランスある川づくり活動を行っています。本会は水面から市民、関係者と清流保全活動を推進し、広瀬川の自然、歴史、文化を守りながら後世に伝える活動を進めてきました。水辺を環境学習の場とし、五感で感じる川体験や魚の観察、ホタルが生息する小川のホタル観察会を開催し、他団体との協働から身近で学ぶ機会を展開してきました。
18		広瀬川清掃	(以下活動紹介) ○NPO法人として河川法や諸法令、条例に基づき、治水・利水・環境のバランスある川づくりを目指します。 ○川活動並びに毎月発行の川守通信を通し、行政、市民、事業者と協働し、「いい川づくり」を目指します。
19		漁協共催 五感で感じるアユ、サケ掴みイベント	○川の魅力発見 ・清掃しながら川観察、春夏秋冬の会員相互の親睦会開催(花見・アユ、芋煮、サケを味わう) ・春夏に遡上するアユ、サクラマス他回遊魚の観察 ・冬に飛来するオオハクチョウの観察、植物等、四季を通して観察します。 ・水面の川学習を支援します。
20		広瀬川何でも相談室	○活動の参加 ・河川清掃⇒4月～12月、翌年3月/第2土曜日午前10時～12時 ・広瀬川灯籠流し⇒8/20 ⇒ボランティア参加の方へ(無料招待/8月アユ祭り・11月サケ祭り)
21		川づくり提言・市民協働フォーラム開催	○SDGs & ESDの実践 ・国交省の河川協働団体(2014年指定)として双方支援活動を継続推進します。 ・広瀬川の課題解決に向け、行政と市民そして関係団体と共に協議し、活動します。 ・広瀬川の自然、歴史、文化を学ぶ場を作り、後世に伝えます。 ・広瀬川を学ぶ ⇒川を見る、知る、語る、そして皆で考える「いい川づくり」を目指します。 ・安全な川遊び ⇒場所/八本松親水池(マリヤフリーの水辺で安全な水遊び・メダカ取りができます。)
22		国交省「水辺・絆プロジェクト2022」(笹流し・水辺で乾杯/八本松(親水池)、「水面から学ぶ川づくり」講演会開催)	・自然の再生 ⇒広瀬川の濁水改善、身近な水路(四谷用水、郡山堀、木流堀、旧荒川)の自然、歴史 ・水路の再生 ⇒ホタル飼育と再生
23		(特非)広瀬川ボートくらぶ	広瀬川でボート遊び(貸しボートの運営)
24	広瀬川灯ろう流し実行委員会	第34回広瀬川灯ろう流し「光と水とコンサートの夕べ」	夏の風物詩としての祖先や死者を供養する灯ろう流しや、花火大会・コンサートなどを実施する。
25	森民酒造・及川酒店	純米吟醸酒「清流広瀬川」	広瀬川の伏流水と県産米く蔵の華>で仕込んだ純米吟醸酒を製造・販売する。
26	仙台市カヌー協会	カヌーで河川清掃クリーンアップ広瀬川	カヌーで河川清掃「クリーンアップ広瀬川」& 体験会は、毎年8月お盆翌週の日曜日開催しています。お世話になっている広瀬川の岸辺に漂着したゴミを川の中から清掃します。午後は、新しい仲間を迎える「カヌー体験会」を同じ会場で開催しています。お一人さまはもちろん、ご家族、お友達でチャレンジください。
27		カヌーリバーレスキュー・ワークショップ	リバービブル必須のレスキュー方法をワークショップ形式で開催しています。カヌーに関わらず多くの川遊びの皆さんを対象に募集しています。水の事故から自身を守るため、ライフジャケット着用での流下方法、ロープレスキュー方法をこの機会に体得ください。
28		広瀬川カヌーツーリング・そのためのレッスン	5～11月 広瀬川でカヌーツーリングを楽しむための4回シリーズのカヌーレッスン。卒業後は落合から折立まで3.5kmの川旅にチャレンジです。
29		市民総体カヌーファンシラローム大会	カヌーのツーリング・レスキュー技術をゲーム形式にしたものです。年齢、性別、国籍一切不問で楽しんでいるカヌー仲間ですが、この試合では良きライバルに。試合後は、鍋を囲みつつ互いの技術を賞賛する場になっています。
30		カヌー体験会	シーズン4～5回、河川清掃後などのイベントに合わせて「カヌー体験会」を開催しています。短い時間ですが、カヌーを通じて川に親しんでいます。体験会のまめはプチツーリング。ふわふわする水面。川から見上げる景色をお楽しみください。
31	関山街道フォーラム協議会	関山街道の四季フォトコンテスト2023	令和4年度に開催した『関山街道の四季フォトコンテスト』を継続し、宮城・山形両県をつなぐ関山街道(国道48号)沿線の四季折々の魅力を写した、お気に入りの写真を募集いたします。新型コロナウイルス感染拡大等で落ち込んでいる地域の活性化、観光交流の増加につながることを期待し、応募いただいた写真は、国内外に情報を発信できればと考えています。
32		関山街道作並地区を巡る探訪会～「関山街道開鑿殉難之地」の碑での慰霊の集いと隠れ滝探訪～	仙台市青葉区作並にある、関山街道の歴史を今に伝える「坂下境目御番所跡」の「関山街道開鑿殉難之地」の碑(広瀬川源流端の標柱)で慰霊の集いと作並温泉の隠れた名瀑布「熊沢大滝(作並大滝)」や「隠れ滝」の探訪を行います。 ※明治13年7月21日(1880年)「坂下境目御番所跡」で、関山隧道掘削のための火薬の爆発事故で犠牲になられた23名の方に、ささやかな祈りをささげます。
33	白沢カルデラプロジェクト実行委員会	白沢カルデラ外輪山を歩こう会(白沢カルデラ実働部隊)	白沢カルデラ・広瀬川の地質、地形等の自然資産を活かして、地域における大地の成り立ちや歴史を学び、将来的には広瀬川ジオパークとしての登録を目指します。 具体的には以下の活動を実施予定です。 ①事業予算の獲得 ②古仙台湖のカンパ制作成・展示 ③広瀬川の本流、支流の露頭調査継続 ④パネル・写真展示会 ⑤小・中学校へのPR、野外授業の検討 ⑥旧宮城地域町内会連合会へのPR等(完成したパンフレットで地域町内会連合会へのPR活動を実施)
34	西公園プレーパークの会	第40回全国都市緑化仙台フェアグリーンアクティビティゾーンでの体験プログラム	グリーンアクティビティゾーンは、青葉山、大橋、広瀬川の眺望を楽しみ、遊びを通して自然とのふれあいを体感できるエリアです。遊びながら自然を体感できるプログラムや、植物観察などをテーマとしたワークショップなどを開催するほか、子どもが自由に遊ぶことができる空間などを創出します。西公園プレーパークの会では、開催中に数日間遊びのプログラムを実施予定です。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
35	カワラカイ	ミズベフェスタ	ミズベフェスタの開催 広瀬川に賑わいを出すために、親子をメイン対象にしたイベントを開催 川のプログラム・水辺のスポーツプログラムに続き、アウトドアプログラム (火おこし・テント張り・ロープワークなど)を実施予定 水辺に賑わいと教育機会の創出を行っています。 2022年度は、2021年度に行ったプログラム プラスα (マルシェ・キャンプ・BBQなどにチャレンジ:主催者側に学生や主婦を増やし、地域の人を巻き込み、リーダー育成を行う)
36	仙台商工会議所青年部	Art Standing in SENDAI	壁画の維持管理を行い、灯笼流しのイベントの際に令和4年度に描いた壁画をご紹介頂きます。また、令和5年10月中旬に近隣の小中学生と壁画を描く前の状態へ現状復旧を予定しております。
37		河川水辺の国勢調査	河川を「環境」の観点からとらえた生物調査・河川調査・河川空間利用実態調査を定期的に行う。
38	仙台河川国道事務所	広瀬川及び旧笹川環境用水導入事業	広瀬川の水環境を守ることを目的に、夏場の水量の問題を改善するために、既存の水路を活用して名取川からの環境用水導水施設の整備をH16年3月に完了した。流量低下時に名取川から河川水を導水する。 (仙台地域水循環協議会にて実施、仙台河川国道事務所は事務局)
39		緊急用河川敷道路整備事業	大地震等の大災害時において、被災者の救援活動、被災地の復旧活動及び物資の輸送等に活用できる緊急用河川敷道路を整備する。
40		河川利用の適正化検討	河川協力団体と連携し、市民目線で見えた適正な河川利用のためのルール作りを検討し、河川利用者への啓発活動を実施する。
41		みやぎスマイルリバープログラム(アドプト制度)	宮城県管理河川の一定区間において、清掃や除草などの良好な河川環境づくりに取り組むボランティア団体を「スマイルサポーター」として認定し、地域と連携して環境美化を行う。
42	仙台土木事務所	中州・寄州の樹木管理	中洲・寄州の樹木や土砂について、H17年に策定した広瀬川管理計画に基づき適正管理を行う。
43		広瀬川環境管理協議会	広瀬川管理計画に基づく管理を行い、周辺状況の変化など必要に応じて協議会を開催する。
44	仙台河川国道事務所	護岸の改修・修景	コンクリート護岸の老朽化に伴う改修と同時に、修景を必要な箇所順次対応する。
45	仙台土木事務所	当事者との調整	河川敷の占用をしている人や団体との調整を行い、不法占用を解消する。(広瀬橋から下流は国が、広瀬橋から上流は県がそれぞれ実施。)
46	国立研究開発法人土木研究所 宮城教育大学 仙台市河川課	竜の口渓谷多自然川づくり事業	令和元年度、広瀬川から竜の口渓谷へ魚類(ヤマメ等の遊泳魚、など)の遡上が可能となるよう、落差工に低コストな切欠き魚道を設置した。設置後は、魚道の設置効果を検証するため、モニタリング調査(施設安定性調査、魚類相調査)を実施してきた。また、本取り組みと並行して、市民向けワークショップ、工事見学会、意見交換会、勉強会等を開催し、魚道設置を契機として河川環境に対する市民の理解・関心を深めることができています。
47	健康福祉局健康政策課	歩こう動こう脱メタボプロジェクト～アルーワーク仙台～	楽しくウォーキングに取り組み、ウォーキングを通して活動量を増やすイベント。市内の通りをスタンプラリーで歩きながら、GPSスポットでスタンプを獲得し、ポイント獲得数に応じてプレゼントがもらえる。
48		生物多様性保全推進事業	カッコウやカジカガエルなど仙台にゆかりのある生きものに着目し、多様な主体と連携しながら、自然や生きものと直接ふれあい、その魅力や大切さについて学ぶ機会の充実を図ります。
49	環境局環境共生課	四ツ谷用水再発見事業	広瀬川の四ツ谷堰から取水し、かつての城下町を潤した四ツ谷用水の周知と継承を図るため、四ツ谷用水跡をたどる歩く会、四ツ谷用水フォーラムなどの啓発イベント等を実施する。
50		自然環境に関する基礎調査	保全上重要な動植物、学術上あるいは景観保全上重要な地形・地質、自然現象等について整理し、様々な環境施策の検討や各種公共事業・開発事業の持続可能な方向への誘導に資する。(5年毎に2年にわたって調査を実施、直近は令和2年度及び令和3年度に実施した。)
51	環境局環境対策課	水質・底質調査	河川の水質・底質(泥)及び、広瀬川の清流を守る条例の水質保全区域における工場・事業場の排水を調査する。
52	経済局農政企画課	広瀬・名取川水系さけます増殖協会への参加	採卵・放流事業やふ化場管理・整備の助成等を行う協会へ参加し、さけ・ます資源の積極的増殖を図る。
53		淡水魚放流事業補助	広瀬川にあゆ、いわな等の稚魚の放流事業を行っている「広瀬名取川漁業協同組合」へ補助を行う。
54	経済局農林土木課	愛宕堰改修事業	老朽化の著しい固定堰を利水・治水・環境に配慮した新堰に改修する。
55	建設局下水道計画課	仙台市公共下水道事業(宮城処理区)	平成21年に公共下水道整備は概成したが、引き続き、施設機能を維持する設備改築工事等を実施する。
56		合流式下水道雨天時越流水対策事業	合流式下水道について、雨天時の越流に対応するための改善事業を実施する。
57	建設局下水道調整課	仙台市浄化槽事業	広瀬川上流域の下水道区域外の地域で、公設公管理型の浄化槽事業を推進する。
58	建設局公園整備課	青葉山公園整備事業	藩政時代からの歴史的・文化的資源や自然景観を生かしながら、市民や仙台を訪れた人が親しむことのできる杜の都のシンボルとなる公園として整備する。
59		西公園整備事業	樹林や広瀬川の自然を生かしつつ、多様な市民活動が展開される「やすらぎとにぎわいの空間づくり」をテーマに、市街地の「みどりの回廊」の拠点にふさわしい公園として再整備する。

No.	活動団体名	取組事業名	事業紹介
60	教育局科学館	広瀬川の魚・環境の展示	仙台市科学館の常設展示コーナーで、広瀬川の魚全種のアクリル封入標本と、水槽による実物展示や、広瀬川の源流から河口までの流域模型と水が流れる体感展示を行う。ただし、令和5年度は秋以降のリニューアル工事に伴い、4階に常設しているアクリル封入標本並びに水槽による実物展示が見られなくなる。
61		総合学習・自然観察会等の学習支援	広瀬川をテーマとする総合学習・自然観察会等の実施への支援・協力をを行う。
62		広瀬川自然展示コーナー	片平市民センター内の仙台市科学館広瀬川自然展示コーナーにおいて、四谷用水やそれを支える仙台の地質・地形などに関して、プロジェクションマッピングを活用した展示を実施している。
63	建設局百年の杜推進課	緑化助成・緑化木交付	広瀬川の清流を守る条例の環境保全区域内行為許可した土地に緑化を実施する場合に助成を行う。
64		仙台市広瀬川清流保全審議会の運営	広瀬川の清流を守る条例に基づき、広瀬川の清流を守るための重要事項を調査・審議する目的で、本審議会を開催する。
65		六・七郷堀かかんがい期通水事業	六・七郷堀の悪臭の抑制、景観の改善のため、H17年1月から開始した非かかんがい期通水事業を継続する。
66		広瀬川ホームページ	広瀬川に関する自然・歴史・文化・市民活動・インタビュー・研究レポートなど、多様な情報発信と意見交換の場を提供する。また「広瀬川魅力創生サポーター」の制度や認定団体を紹介する。
67		観光資源としての広瀬川の魅力発信	携帯用散策マップ「広瀬川へ行く」や「広瀬川ホームページ」などを活用・更新し、観光資源としての魅力を発信する。
68		市民協働事業の推進	広瀬川に関わる市民参加型事業の企画推進を図り、他機関と協働して創生プラン推進に努める。(広瀬川創生係による創生プランの推進)
69		広瀬川市民活動マップの作成	広瀬川をフィールドとしたNPO等の活動マップを広瀬川ホームページ上で公開し、広く周知・活用を図る。
70		広瀬川フォーラム等の開催	広瀬川をフィールドとした分野ごとの活動内容の発表や、テーマ・流域毎に広瀬川に関する課題等を共有し、広く情報発信を行っていく。
71		市民センターとの連携	各市民センターで行われる広瀬川に関する事業を、「広瀬川ホームページ」に掲載したり、講師の紹介・派遣を行うなど市民センターとの連携を推進する。
72		広瀬川自然体験学習	小学生とその保護者を対象にしてプロのインストラクター指導のもと、川の生き物探しや、川での安全な歩き方などを学びながら自然豊かな広瀬川を体験してもらう。
73	広瀬川スマホ写真教室	広瀬川沿いの見どころを徒歩で巡りながら、スマートフォンによる写真撮影の仕方や編集などの基本について学び、広瀬川の自然・歴史・文化等に触れつつ、広瀬川の魅力を再発見する。	
74	#広瀬川 インスタクラブ 建設局百年の杜推進課	仙台市公式 #広瀬川 Instagram に掲載する情報収集と更新	広瀬川に関する行政の取り組み(治水・利水・親水)をInstagramをとおして発信し、市民の広瀬川への関心がより一層高まるよう醸成を図る。また、広瀬川創生プランに関わる各協力団体の活動をInstagramを通じて情報発信し、広瀬川をめぐるさまざまな市民活動への市民の関心を喚起する。(川歩き等の市民イベント同行による情報発信)。更に、定期的にアクセス解析を実施し、情報発信の改善につなげる。
75	東北工業大学 建設局百年の杜推進課	東北工業大学ライフデザイン学部 生連携事業	東北工業大学ライフデザイン学部の授業の取り組みに協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。
76	小田 隆史先生 建設局百年の杜推進課	「地誌学」学外実習連携事業	小田 隆史先生が東北学院大学で担当する授業「地誌学」の学外実習に協力する形で、学生に広瀬川について学ぶ機会を提供する。
77	片平市民センター 建設局百年の杜推進課	広瀬川界限ぶらり散歩	片平地域は仙台市の中心部にあり、藩政時代から残る由緒ある史跡や自然が共存している風光明媚な場所です。市民センターで養成した広瀬川ボランティアガイド「広瀬川をゆっくり歩き会」の案内で、広瀬川を中心に地域をめぐり、魅力を伝えていきます。
78		広瀬川ガイドの養成	広瀬川の魅力を語りながら各スポットを案内する、地域の「広瀬川ガイド」を養成する。
79	宮城県仙台二華高等学校	広瀬川フィールドワーク	仙台二華高等学校は課題研究の主題として「世界の水問題の解決」を掲げ探究活動を行っています。中学では泉ヶ岳や北上川をフィールドに探究学習を行い、高校では広瀬川、北上川、メコン川というように、県内を流域とする身近な生活に影響を与えている水利用から、県を超えて水利用が進む姿、そして国境を越えて水の利活用が進むメコン川と段階を進めて探究活動をしています。特に、令和5年度から広瀬川の水の利活用を学ぶことで、身近な生活の場面に生かされる水環境について考えていきたいと活動を進めています。
80	子ども若者局 子育て応援プロジェクト推進担当	令和5年度仙台市プレーパーク活動等普及啓発事業	子どもの遊びの環境を充実させることを目的に、広瀬川河川敷等に子どもの遊び場を一時的に仮設し、子ども達が自発的に遊ぶ機会を提供するとともに、プレーパーク活動の啓発や担い手の発掘、遊びを引き出すスタッフの育成を行う。
81	FEEL Sendai 社の 都の市民環境教育・学習推進会議	社々かんきょうレスキュー隊事業プログラムNo.5「川で遊ぼう～あんぜんに・たのしく・やさしく～」	社々かんきょうレスキュー隊事業は、社の都仙台の特色ある自然環境・社会環境を素材に、環境NPOなどが環境学習プログラムを作成し、提供する事業です。プログラムを体験し、身近な自然や地球を守るために環境に配慮した行動の取れる人(＝社々かんきょうレスキュー隊員)となることを目的としています。作成された環境学習プログラムは、市内の小中学校や保育所等を対象に実施し、普及・活用を行っています。環境学習プログラムのうちの1つ「川で遊ぼう～あんぜんに・たのしく・やさしく～」は、川に入っただけの活動をする際に適した装備や行動、そして危険箇所等を学ぶと共に、実際に川に入って魚や水生生物を採取し観察します。
82	いい川・いい川づくり 実行委員会	第15回いい川・いい川づくりワークショップ in 東北	「いい川・いい川づくりワークショップ」は、名前のとおり、これぞ「いい川」、「いい川づくり」という事業、活動を全国から募集し、2日間かけた公開選考会方式の発表、議論のプロセスを通じて、「いい川」、「いい川づくり」のイメージや評価の視点、取り組みのヒントなどを参加者全員で探り、共有してこうという大会です。この大会は、私たちがめざす川や水辺はどんな姿なのか、私たちにどう「いい川・水辺」とはどんなことなのか、自由に柔軟に探っていくこと、各地で活躍する市民・住民・行政に呼びかけ1998年に始まり、これまで開催(通算24回)で、応募総数は延べ1264件となっています。回を重ねるなかで、身近な川から流域全体、全国規模の取り組みまで、また、源流域や湖沼、用水、湿地、海浜といったさまざまな水辺、下水道や雨水、水循環など、対象とする領域やテーマを広げてきました。地域、世代、立場を越えたさまざまな人たちが一堂に会し、2日間にわたる驚きと感動にあふれた公開選考会、交流が行なわれます。みなさんの自慢の「いい川」、「いい川づくり」を持って、是非、ご参加下さい。 【第15回「いい川・いい川づくり」ワークショップin東北】 ・日時:2023年9月30日(土)10:30～17:30 開会式、全体発表会、テーブル選考、全体集会ほか 10月1日(日)9:30～15:00 復活選考、入選者発表会、全体選考・公開討論会、表彰式 ※大会前日9/29(金)は、仙台市内の水辺や活動現場を訪ねる現地見学会を開催します。 ・会場:東北大学 青葉山 commons(仙台市青葉区荒巻字青葉468-1) ・主催:いい川・いい川づくり実行委員会(実行委員長:宮口侗迪 ほか約80名) *現地実行委員会事務局(NPO法人水・環境ネット東北)

# R5重点事業・主な取組事業マップ



## 主な取組事業

- 1 広瀬川フィールドワーク  
(宮城県仙台二華高等学校の学外活動)
- 2 令和5年度仙台市プレーパーク活動等普及啓発事業  
(大橋上流左岸側、せせらぎ水路等でのプレーパーク活動)
- 3 杜々かんきょうレスキュー隊事業  
(プログラムNo.5  
「川で遊ぼう～あぜんに・たのしく・やさしく～」)
- 4 第15回いい川・いい川づくり  
ワークショップ in 東北
- 5 広瀬川界限ぶらり散歩

## 重点事業1 広瀬川1万人プロジェクト 清掃会場

- 1 作並会場
- 2 野川橋会場
- 3 折立会場
- 4 牛越橋会場
- 5 澱橋会場
- 6 仲ノ瀬橋会場
- 7 大橋左岸会場
- 8 大橋右岸会場
- 9 評定河原橋会場
- 10 米ヶ袋会場
- 11 宮沢橋会場
- 12 広瀬橋会場
- 13 八本松会場
- 14 千代大橋会場
- 15 太白大橋会場
- 16 名取川鉄道橋会場
- 17 かわまちテラス閑上会場
- 18 閑上海岸会場
- 19 荒浜海岸会場
- 20 蒲生干潟会場
- 21 七ヶ浜会場(七ヶ浜町)

## 重点事業2 アイラブ広瀬川プロジェクト

- 1 広瀬川自然体験学習  
(ニッカウキスキー仙台工場内)
- 2 広瀬川スマホ写真教室  
(広瀬橋～愛宕堰)
- 3 広瀬川ミスベリングプレゼン大会 & 水辺で乾杯ー  
(仙臺緑彩館、大橋下流右岸側)



# 杜の都のシンボル「広瀬川」を、市民の手で未来へ

## 広瀬川1万人プロジェクト 第34回 広瀬川流域一斉清掃 開催

爽やかな秋晴れとなった秋分の日(9月23日)、「広瀬川1万人プロジェクト 第34回広瀬川流域一斉清掃」が行われました。同プロジェクトは、「杜の都・仙台」のシンボルである広瀬川の自然環境を守り、多くの市民が親しめる河川とすることを目的に流域の一斉清掃を行うもので、毎年春と秋に開催。100万都市仙台的1%に当たる1万人をキーワードに、市民・企業・行政が連携し、2002年から活動を続けてきました。今回は「みやぎ海つなぎアクション2023うみ・かわ同時クリーン」も同日開催され、広瀬川流域に加え、内陸部のゴミが

川を通して流れつく海岸なども会場となっており、これまでで最多となる20会場で清掃活動が行われました。

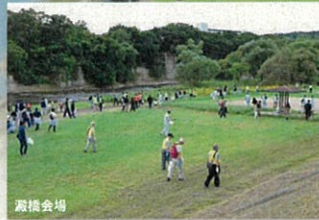
当日は1549人が参加。ゴミ袋とトングを手にゴミ拾いを行い、合計285袋分のゴミを回収しました。そのほとんどはペットボトルやカン、ビン、タバコの吸い殻、食品の包装材などでしたが、会場によってはパーベキューの放置ゴミや、不法投棄と思われる自転車や車のホイールなども回収されました。清掃終了後、参加者からは「ゴミを拾いながら、広瀬川の環境に向き合うことができた」と「家族と一緒に参加でき、良

い機会になった」などの声聞かれました。同プロジェクト実行委員会事務局の谷田貝泰子さんは「普段自然に触れ合う機会がない人も、この清掃活動に参加することで広瀬川に親しみきっかけになればうれしい」と期待を寄せています。

あしたのみどりキャンペーンでは、これからも植樹・花壇づくりなどの支援活動を継続するとともに、仙台のみどり豊かな景観や環境を未来につなぐための取り組みを応援していきます。



現場の仲間や家族と一緒にゴミを回収



源橋会場では250人の市民が清掃活動に汗を流しました



回収ゴミには、自転車などの不法投棄された物も



活動終了後は、感謝を表すハンドサインで記念撮影

特別協賛



みやぎの  
環境保全米



JAグループ宮城

企画協賛



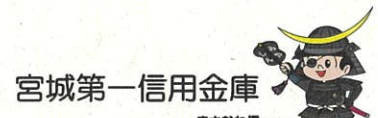
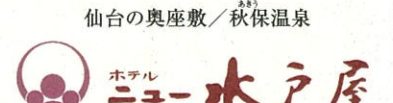
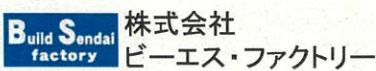
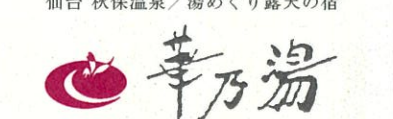
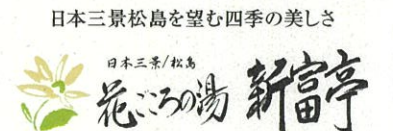
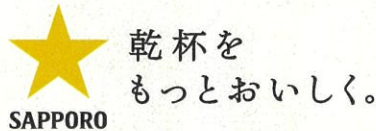
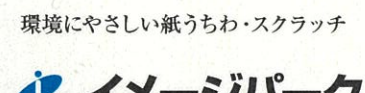
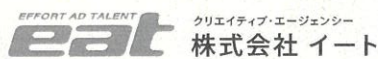
鈴木工業株式会社



東北ろうきん



一般協賛



順不同





MENU

わたしの  
「みどりのある風景」  
紹介

わたしの  
「みどりのある風景」  
募集

プレゼント賞品紹介

植樹・花壇づくり  
支援希望団体募集

トップページ

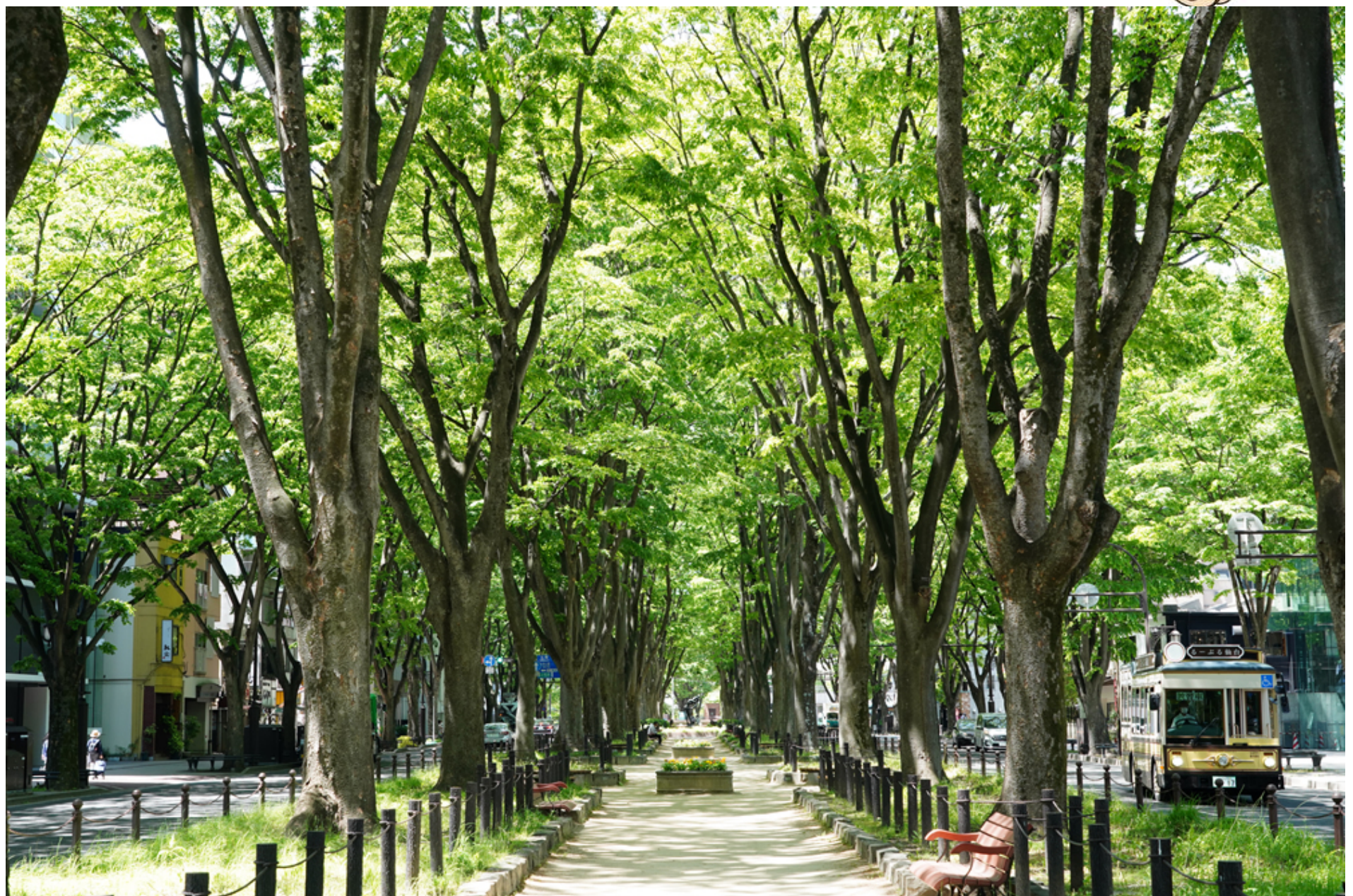
あしたのみどり  
キャンペーンとは

紙面特集

協賛社紹介

プライバシーポリシー

皆さまに支えられ、あしたのみどりキャンペーン15年目



あしたのみどりキャンペーンは、杜の都のみどりを育むことを目的に2009年にスタート。震災後には、失われた「みどりの再生」をテーマとし展開してきました。

本企画に賛同いただいた企業・団体様からの協賛金は、仙台市の百年の杜づくり推進および被災地域でのみどりを通じた復興支援活動に役立てられました。その後は、幼稚園や地域の団体などへの植樹・花壇づくり支援を実施。地域コミュニティ再生に寄与する取り組みを続けてきました。

スタートから15年目を迎える今年もこうした取り組みを継続しつつ、仙台市民の憩いの場であり貴重な水源でもある、広瀬川流域の環境保全活動を応援する紙面企画を新たに加え、展開してまいります。50年後も100年後も、杜の都仙台の豊かなみどりと広瀬川の自然を未来につないでいくため、本キャンペーンにご参加いただくとともに、みんなでみどりに親しみ、みどりを育てていきましょう。